



ゾンデ放球の様子

## 気象庁からARS受注！ 名瀬(奄美大島)

ARSとは「Automated Radiosonde System」の略で、自動放球・観測システムのことです。気象庁は、全国18カ所において高層気象観測をおこなっていますが、今までは気球につなげたゾンデを人手によって放球していました。ARSはその放球作業を自動でおこなうシステムです。観測準備から放球・観測・気象報の送信までを全て自動で行い、スケジュール観測機能により1日2回の観測を一週間無人で行うことを可能にしました。

明星ARSは、今年の台風4号の強風下においても観測を自動で行い、観測者の安全を確保しました。このように観測業務の効率化や自動化の要求に対する新たな製品開発により、大きな期待をされており、高層気象観測の新しい観測形態として国内だけにとどまらず、グローバルな展開を進めています。



## SELENEシンポジウムにて明星パネルが展示される

2006年7月31日、経団連ホールにて「SELENEシンポジウム2006」が開催されました。SELENEは2007年夏期に打ち上げ予定の、今までにない観測機器を搭載した月探査衛星で、その観測には大きな期待が寄せられています。シンポジウムでは明星PRパネル(左)が展示されました。明星電気が担当する観測機器は以下の7観測器で、SELENE観測機器の半分を担当しています。⑦高精細映像取得システムはNHK(日本放送協会)と共同開発したハイビジョンカメラです。

～明星電気担当観測機器～

- ①蛍光X線分光計 ②粒子計測器 ③プラズマイメージャ ④月レーダサウンダー  
⑤月磁場観測装置 ⑥プラズマ観測器 ⑦高精細映像取得システム



石見空港 CCS-79C型通信制御装置  
(Communication Control System)

## CCS-79C型通信制御装置

CCS-79C型通信制御装置は、第3種空港向け管制システムとしてロングセラーを誇っています。第3種空港は全国に54空港あり、各地方の重要な玄関口となっています。明星のCCS-79C型通信制御装置は神戸、北九州等、その半数の27空港に設置され、高い信頼を得ています。明星電気における航空管制システムのノウハウは長年の実績により蓄積されたものであり、システムの信頼へと繋がっています。

航空機を利用される方が、快適で安全に空の旅をされるように、今後も明星電気は航空管制システムの技術躍進を進めてまいります。

## Qアラート、緊急消防援助隊に採用される！



Qアラート

総務省消防庁緊急消防援助隊は、阪神淡路大震災を機に平成16年法制化され発足しました。全国の消防本部から約3000隊が登録されています。新潟中越地震で土砂に埋まった車の中から子供の命を救い出し、TVでも中継されましたが、その際に、揺れる前に知らせる地震警報機の必要性が認識されました。

明星電気は櫻護株式会社からの依頼により、ナウキャスト地震計の「揺れる前に知らせる技術」を元にバッテリーオペレーションを可能にするなど、様々な工夫を凝らした「Qアラート」を製品化し、松山市消防本部に第1号機が納品されました。現在、各地の消防救助隊から地震警報機の引き合いが活発化しています。頑強なプラスチックBOXにナウキャスト地震計が収納され、パソコンなどに比べ専用機として信頼性に優れており、現地救助活動に飛び出して活躍します。

## FROM UNDERWATER TO OUTERSPACE

明星電気は先端技術を活かし、～水中から宇宙まで～をテーマに

人と社会の豊かな未来づくりを目指す世界の総合環境観測システムメーカーです。